

## 第43回淑楓祭

テーマ  
**Magic**

10/27(土)・10/28(日)

大学

# 愛され続ける淑楓祭

長久手キャンパス

### 淑

楓祭は第43回を迎え、今年も「Magic」をテーマとして開催されました。

「Magic」をモチーフとした装飾物がキャンパス内を彩り、学内団体のみなさんが模擬店や教室企画、ステージ発表で日々の成果を存分に発揮しました。

1日目のアーティストライブはSEEMSさん、Official髭男dismさん、2日目のお笑いライブはラバーガールさんをゲストに迎え、ステージでは華やかなヘアショーが開催されました。BOYS AND MEN研究生さん、OS☆Cさんなどたくさんの方のアーティスト、団体の皆さんに出演いただき大変盛り上がりしました。



後夜祭バルーンドロップ



多くの団体が模擬店を出店



大学正門前の装飾



大学祭実行委員による子ども向けの教室企画



Olu Oluによるフラダンス発表



Junk Dance Square (J・D・S)によるダンス発表

使ったクイズラリー企画を行い1000人以上のお客様に参加していただきました。

淑楓祭の最後を飾る後夜祭は、恒例のバルーンドロップが会場をカラフルに彩り、クイズ企画や淑楓ダンス、後夜ダンスも多くのお客様に楽しんでいただきました。

今年は天候にも恵まれ、2日間で18000人を超えるお客様にご来場いただき、大変多くの皆様に愛される淑楓祭に成長していることを実感しています。第43回淑楓祭を創るにあたってご尽力いただきました関係者の皆様、地域の皆様、団体様、お客様に実行委員一同心から感謝申し上げます。

### 今

年の淑楓祭のテーマは「Magic」です。お客様を笑顔にする魔法をかけたという思いを基に、私たち実行委員も楽しめる淑楓祭になりました。

また、今年は両日も天候に恵まれ、昨年より約1500人も多い、4563人の方にご来場いただくことができました。

1日目は俳優の山田裕貴さんをゲストに迎えたトークショー、2日目には8・6秒バズーカさん・アンダーポイントさんによるお笑いライブを行いました。ステージでは、チャリィディング・よさこい、書道パフォーマンス



よさこいパフォーマンス

マンスなど、有志団体の皆さんに出演いただき大変盛り上がりしました。

お化け屋敷や子ども広場、教室企画などの毎年恒例の企画に加え、今年新たに企画したバスボムづくりでは、大人から子どもまで幅広い年代の方々にお楽しみいただきました。また、模擬店を教室内ではなく屋外で開催し、両日も多数の模擬店が完売するほどの大盛況となりました。

お客様に来年もまた来たいとお言葉をいただき、実行委員としてとても嬉しく思います。来年以降も、たくさんの方々へ愛され、常に発展し続けられる淑楓祭を目指していきます。ご協力いただいた関係者の皆様、お越しいただいたお客様へ実行委員一同心より御礼申し上げます。



後夜祭のレーザーショー



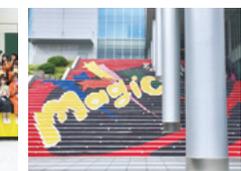
参加団体による模擬店



バスボム企画の様子



実行委員全員の笑顔



巨大な布を使った階段装飾

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。

## ● 沖縄研修旅行

11/1(木)~4(日)

### 中学校

3

泊4日の中3沖縄研修旅行では、感受性豊かなこの時期に、実際に自分の目で見て学ぶことを重視しています。沖縄の「自然・風土」「歴史・文化」、そして「戦争と平和」のこの3つを体験し学ぶことができます。

この3つを体験し学ぶことができます。ガンガラーの谷で亜熱帯の森を、そして珊瑚礁の海岸を散策することで名古屋とは異なる「自然・風土」を感じられます。沖縄独自の「歴史・文化」は県立博物館・中城城跡・首里城などを巡りながら学びます。最も重視している「戦争と平和」について学ぶのは、2日目の南部戦跡巡りや3日目の普天間基地を遠望できる嘉数高台などです。ひめゆり平和祈念資料館での平和講話は、戦争体験者の高齢化に伴い、数年前からは「次世代の語り部」の講話に変更されましたが、戦争体験者の証言映像を

交えながらのわかりやすい説明で、生徒は「戦争を語り継ぐ」ことの意義が理解できたと思います。かつて淑徳生が広島島の被爆者の佐々木禎子さんに折り鶴を贈ったことから、千羽鶴が平和の象徴になっていった過程を事前に学んだ上で全員で作成した折り鶴をひめゆりの塔に奉納しました。戦時の避難壕である漆黒のガマでは、戦時中の人々に思いを寄せて研修旅行委員が平和宣言文を読み上げました。荒天により見学が困難になったり、体験学習も一部が代替プログラムに変更することもありましたが、楽しく学ぶことができました。



首里城正殿



ひめゆりの塔の前



沖縄体験ニライカナイで作った漆喰シーサー



平和の礎

## 高等学校

## ● 九州研修旅行

10/22(月)~26(金)

高

校2年生の研修旅行は、毎年4泊5日で実施され、九州を訪問します。今年度は、1日目に吉野ヶ里遺跡、有田焼の窯元。2日目に熊本城、有明海、雲仙。3日目に長崎で平和学習。4日目には長崎市内の班別研修。最終日は太宰府天満宮を参拝。以上の行程で行われ、九州の特色ある文化・歴史・社会・自然について学びました。

平和学習では、出発前に映画を鑑賞するなどの準備を行いました。現地で原爆遺構を見学した後、被爆体験者の下平作江氏の講演を聴き、原爆資料館を見学しました。こうした活動を通して、生徒は原子爆弾の恐ろしさと戦争の悲惨さを感じ、慰霊祭では、平和な社会を築くことを誓うことができました。

また、今年度の研修では、震災以降訪問を取り止めていた熊本を訪れることができました。熊本城の石垣

は、震災後2年が経過した今でも無残な状態で崩れていました。崩れた石が、二元通りの状態に積み直されるのには約20年かかると言われています。熊本城の被害の様子を生で見られたことは、生徒にとっては大きな衝撃であったようです。

旅行の後、生徒からは、「人の手によって造られた核兵器の恐ろしさとともに、自然の力の大きさを感じる事ができた」との声が聞かれました。楽しく過ごさずだけでなく、学ぶことが多かった旅行であったようです。



慰霊祭 平和宣言



原爆資料館



班別研修(グラバー園)



熊本城



吉野ヶ里遺跡



班別研修(眼鏡橋)



浦上研修(如己堂)